



井上税理士事務所
INOUE TAX ACCOUNTING OFFICE

大阪府大阪市中央区北浜2丁目3-6
北浜山本ビル8F
TEL 06-6484-7137
URL: http://fresh-green.net

と、私からお願ひしていたんです。というの、勤め先の社長には本意にお世話になりましたし、独立後もお付き合いしたいと考えていましたから、お客様を取るようにすることはしたくなかった。所長の気さくなお人柄もあって、ありがたないことに辞める際にはこれ以上ないほど同様に退社し、快く見送っていただきました。

—— 恩師への義理を通すかたちで独立なさったわけだ。では、お客様を確保するまでは仕事が多かったのではないですか。

ええ、知り合いに電話したりしながら少しずつ増やしましたが、はじめのころは随分大変でした(笑)。それで週半分くらいは友人が経営する会社の経営を手伝っていた、その後も別の友人の紹介で監査法人で働いたりしましたね。その中で徐々に紹介してお客様が増えて軌道に乗り、さらに結婚したことを機に改めて気合いを入れ直して、人を増やして現在に至ります。今は13名のスタッフがいますよ。

—— ゼロからのスタートだったにもかかわらず、大きく成長してこられたんですね。大切にされていることはありますか。

人材育成に力を入れることですね。私共では「経営者の身近な相談役として経営をサポートする」を経営理念としており、経営者様から相談を受ける者として経営者目線を持つことを意識し、税理士はサービス業であるという思いで仕事をしています。より良いサービスを実現するために、スタッフ全員が私と同じだけの力量を身に付けてほしい。ですから自分の分身をつくるような気持ちで人材育成に励んでいます。お客様にも、スタッフを紹介する際には「僕

の分身です」と言ったりするんですよ。

—— スタッフさん(このサービスの質に差がない)ということですから、お客様としては誰が担当でも安心ですね。けれど、スタッフさんが10名以上もいらしたら、直々に指導して「分身」を育成することは難しいでしょう。

おっしゃる通りです。本来なら私が全員に指導したいところですが、人が増えてくるとそうもいきません。なのでまず私の双子と呼べるような人材を育成し、その双子にまた別の人の育成を任せようというイメージで教育しています。そうして昔には当社のマニュアルを確実に吸収した人材に育つた上で、個々の色を少しずつ出してほしい。その中で、良い色があれば、柔軟に取り入れていきたいですね。

—— 合理的な人材育成の方法を取っているという印象です。今後はさらに大きく組織が大きくなる中で大切なのは、管理者の存在——つまり先程から申し上げている私の「双子」を何人育てられるかですね。双子の仕事は大きく分けて2つ。確実にお客様の安心感を得られるよう、現場で新人のサポートなどをしっかりすること、所内のマニュアルが守られているか内部に目を配ること。簡単なことではありませんが、頑張らなければいけません。また今後は社内制度を設けるなどの展開も視野に入れています。これからに向けて、日々の業務の中で私自身の研鑽にも励んでいますよ。そして、皆が「ここで働いて良かった」と心から思ってくれるような税理士事務所にしていきたいですね。

「井上スタンダード」を守りながら

▼井上先生は、「井上税理士事務所」に入ってくるスタッフには以前の事務所の経験はいらない」と話した。もちろん、税理士としてそれなりの色を持って入ってくる人が多いが、新人にはまず3カ月は先輩と同行してもらい、個性を消してもらおう。これは先生曰く、「井上スタンダードに染まってもらう」こと。1年半もすればすっかりマニュアルを吸収し、立派な同事務所のスタッフになっているという。

▼とは言え、先生はスタッフの独自性を軽んじているわけではない。まずは「井上スタンダード」をしっかりと理解してもらった上で、徐々に独自性を出してほしい。その中で優れた意見があれば、それを新たなスタンダードとして柔軟に組み込んでいきたいと考えているのだ。そうして改善を重ねてきたマニュアルを守っているからこそ、スタッフ全員が顧客の信頼を勝ち得る仕事を実現できている。独立から10年の節目を機にさらなる躍進を目指し、同事務所は成長を続けていこう。

井上流、経営の極意

- ✓ 社内のスタンダードを守る
- ✓ 「分身」を育成する
- ✓ 優れた意見は取り入れる

井上 裕光
税理士

大阪府八尾市出身。[和歌山大学]の大学院を卒業後、システムエンジニアとして1年半勤務。その後本町の税理士事務所にて3年間経験を積み、31歳で独立して「井上税理士事務所」を立ち上げた。勤務時代の所長に義理を通し、顧客を引き抜かずゼロからスタートしたため苦労も多かったが、人材教育に力を入れながら誠実な仕事に励み、現在顧問先300社で社員13名。順調に成長を遂げている。



**理念を共有したスタッフが
顧客に寄り添ったサービスを提供する
全員が高い実力を持つ税理士事務所**

お客様の立場になって親身な対応を心がけ、徐々に成長してきた「井上税理士事務所」。税理士の井上先生は、スタッフが育つ中で、全員が自身と比べて遜色のない対応ができるようにと、人材育成に注力している。今年で創業から10周年を迎えた同事務所を、俳優の志垣太郎氏が訪問。先生の歩みや事業への思いを伺った。

—— まずは井上先生の歩みから。

「和歌山大学」の大学院卒業後、システムエンジニアとして就職し、約1年半勤務しました。学生の時に税理士事務所アルバイトをしていたのですが、そちらでの経験から将来はパソコンの知識や技術があったほうが良いと考えましてね。それでIT関係に進み、人並み以上にパソコンが使えるようになったところで退職。もともと目指していた税理士の道を進むべく、大阪・本町の税理士事務所に入りました。

—— 税理士にパソコン技術が必要だと思われたのはどうしてですか。

今この業界の平均年齢は60歳以上と言われており、中にはパソコンに疎い先生もいらつしやいます。ですが経営者のサポートをする立場として、今の時代パソコンの知識や技術は最低限あった方が武器になりますし、他事務所との差別化につながるでしょう。当事務所は若いスタッフが多いためもあり、業界の中で最もパソコンを使える税理士事務所だと自負しています。業務

—— 効率化にも活用することで人件費を抑えて、業界の相場よりも顧問料を安く設定できていますよ。

—— なるほど。税理士事務所に入られてから独立までは、どのような経緯で?

税理士の資格を取得する為には2年間の実務経験が必要なんです。本町の事務所に入ったのは27歳の時。資格を取得して、いつかは独立しようと考えていました。目標があれば無駄のないよう努力するもので、かなり充実した日々を送れました。ですが勤めていると学びたいことも出てきましたし、石の上にも3年と言いますから、結局3年勤めて31歳で独立しました。独立後はまたゼロからのスタートで、苦勞しましたね。

—— ゼロからと言っても、お勤め時代のお客様が少しはいらつしやったのでしょ。

いえ、1社もなかったです。「独立するならついていくよ」と言われて下さるお客様もいらつしやったのですが、「この社長に担当してもらっていた方が良いでしょう」



● ゲストインタビュー
志垣 太郎
(俳優)

「とても明るく気さくにお話して下さった井上先生。徹底した人材教育など、ご自身の確固たるお考えのもとで「井上税理士事務所」さんを大きく成長させていらつしやいます。勤務時代にお世話になった所長とは今でも良いお付き合いをなさっているようで、その方の存在は先生にとって目標の一つなのだとか。恩師を超える日を目指して、これからも益々頑張って下さい!」